

## ドイツ語学科

### 人材養成および教育研究上の目的

---

ドイツ語学科は、多角的なカリキュラムにおいて、ドイツ語によるコミュニケーション能力を培うとともに、ドイツをはじめとするドイツ語圏の国々の文化と社会、その思考方法と価値観を様々な側面から理解するための充実した教育を実施することを目指す。すなわち、複眼的思考力を身に付けることにより、国際社会において文化の枠組みを越えて他者との関係を構築し、多様な価値観を顧慮しながら人間の原点に立って行動できる人材、及び深い学識を有し、異文化間の相互理解に貢献できる国際人を育成することを目的とする。

### 三つのポリシー

---

#### ❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

ドイツ語学科は人材養成・教育研究上の目的に即し、

1. ドイツ語の運用能力の習得に意欲を持つ人
2. ドイツを初めとするドイツ語圏の国々の文化と社会に興味・関心を持っている人
3. 異文化に関する理解を深めたいと考えている人
4. 多様な価値観を持つ他者との関係を構築しながら、国際社会で活躍したいと考えている人

の入学を求めています。一般入試や推薦入試等により、ドイツ語学科での修学を希望する人を受け入れます。

#### ❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

ドイツ語学科では、ドイツ語の運用能力とドイツ語圏の国々の文化や社会に関する専門知識を段階的に身につけるため、1、2年次には「基礎会話」や「ゲルマニスティク入門」等の基礎的科目をおき、3、4年次は「演習」や「特講」を初めとする専門性の高い科目を配したカリキュラムにより授業を行っています。特に、カリキュラムの中心をなす「演習」ではゼミナール形式による少人数教育を実施しており、ドイツ語圏の文学・語学・事情を多角的に考察できるよう指導しています。また、通常の講義とは別に、現地研修や交換留学などを積極的に行い、語学力のさらなる向上と異文化体験の蓄積を図っています。





❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

ドイツ語学科では、ドイツ語の基本的な運用能力を習得し、ドイツ語学・文学・事情のいずれかに関する専門知識を踏まえて、ドイツ語圏の文化や社会に関する自らの見解を論理的に説明できる能力を身につけた人に学位を授与します。

